

## 2018 年度5月 菊水山 観察下見会報告

日 時	2018年5月8日(火) 9:30~13:00		記録者:熊谷信哉
探 鳥 地	神戸市北区 菊水山		
参加人数	在校生6名	顧問 相談役 1名	総計7名 天候:曇天
観 察 概 要			
	<p style="text-align: center;"><b>可愛い姿と美声たっぷり</b> 曇天の中、行った甲斐がありました</p> <p>「鳥さんたちも子育てに忙しいらしい」——大雨が南の海から迫っている。いつ降り出してもおかしくはない緊迫した天候の中で始まった5月定期観察会「菊水山」の下見会。夏鳥に切り替わった野鳥たちのさえずりはあまり聞こえてこない。あきらめかけて帰途につこうとしたその時だ。</p> <p>前方の木の枝あたりから「鶴千代ぎみい」「焼酎一杯ぐいい」の音が聞こえてきた。「あ、この声は!?!」。参加者全員に緊張が走り、双眼鏡をかざした。頭から背、肩羽にかけてオリーブ色。こちら側に向けた頬、喉、胸元の白さがまぶしい。思いもなかったセンダイムシクイのお出ました。</p> <p>あるベテランは「この鳥にお目にかかることは滅多にない。本当にラッキー」と感激、持参したフィールドスコープを覗き込んでいた。</p> <p>センダイムシクイの他、オオルリ、キビタキ、イソヒヨドリも可愛い姿を披露してくれた大当たりデーとなった。茂みの中からは相変わらず姿を見せないウグイスが「ホーホケキョ」。3月ごろに比べれば相当の上達ぶりだ。鳥たちの可愛い姿と、たっぷり聞かせてくれた美声。</p> <p style="text-align: center;"><b>「日本七鳴鳥」を提唱</b></p> <p>みんな、すっかり気分が良くなり「日本三鳴鳥(さんめいちょう)ではなく、『日本七鳴鳥』があってもよいのではないか。ウグイス、オオルリ、コマドリにイカル、キビタキ、クロツグミ、イソヒヨドリを加えた7種としてはどうか。KSC野鳥と自然観察会独自の提唱にしよう」とワイワイガヤガヤ。鬱陶しい曇天を吹き飛ばした楽しい一日となった。</p> <p><b>【下見会で観察できた鳥】</b> オオルリ、カワラヒワ、キビタキ、コゲラ、シジュウカラ、スズメ、センダイムシクイ、ツバメ、ハシボソガラス、ヒヨドリ、ホオジロ、ヤマガラ、イソヒヨドリの13種</p> <p><b>【下見会で声を聞いた鳥】</b> アオゲラ、ウグイス、メジロ、ヤブサメ、ソウシチョウの5種 (探鳥確認メモ 春~夏バージョン)</p>		
	5月13日(日) 菊水山(5月定期観測会)は荒天のため中止になりましたので、5月8日(火)に、実施されました菊水山下見会の報告書を掲載しております。		